



サイン塔

2010年4月

中京女子大学は、大きく変わりました！

誇らしい伝統や実績を生み出した、“中女”の文化はそのままだ。



野球場

大学名は「<sup>しがつかん</sup>至学館大学」。

同窓会は母校とともに歩みます。

会員相互の親睦を一番に、

「至学館大学同窓会」の

活性化へと…

## ◆ 会長挨拶

至学館大学同窓会 会長  
片桐 勝子



～「至学館大学同窓会」と  
名称変更しました～

同窓会員の皆さま、お元気で暮らしのことと存じます。

中京女子大学同窓会のあゆみは、昭和53年2月、なでしこ同窓会より自立後、35年の歳月が経ちました。大学創立者の内木玉枝先生から伝統ある歴史を引き継がれ、三代目学長に就任された谷岡太郎先生のご尽力のお陰で、当時の学生と先生方の努力により誕生することができた同窓会であります。

その後、四代目現学長、谷岡郁子先生へと継がれ成長してまいりました。創立以来105年という母校中京女子大学は、さらに未来を見据え、この4月より「至学館大学」と名称を変更いたしました。

母校の名称変更に伴い同窓会も、昨年10月18日、第18回同窓会総会の折にご出席の会員の皆さまのご承認をいただき「至学館大学同窓会」と決定いたしました。慣れ親しんできた中京女子大学同窓会名でなくなることは一抹の寂しさがあり、また、一言では言い表せない思いであることとお察し申し上げます。

新装されたサイン塔は、「至学館大学」に変わり、今年も同窓会は準会員の新生443名を迎えました。今後とも、母校と共に発展していく同窓会でありたいと思います。会員の皆さまのより一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。

一方、ホームカミングや総会への参加が、同期会やクラス会と併せて計画される会員の皆さまが増えてまいりました。大変喜ばしいかぎりです。今後同窓会は、地方支部や学科単位、部活単位の支部の立ち上げや県人会の充実など、会員相互の親睦に努めて参ります。

最後になりましたが、会員の皆さまのご多幸とご健康をお祈り申し上げます。

## ◆ 学長挨拶

至学館大学 学長  
谷岡 郁子



～素敵な男子達が  
入ってきました！～

同窓会の皆さまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げますとともに、本学の教育活動に対し、何かとご高配を賜り深く感謝しております。

さて、すでにご承知のとおり、本学は本年度より男女共学化し、「至学館大学」として新たに歩み始めました。

永らく親しまれた「中京女子（チュウジョ）」の名を変えることは、私自身とても悩みましたし、多くの方々からも同じ思いを耳にしておりましたが、学生たちの意見を踏まえた上で、「至学館大学」としてスタートすることといたしました。

しかし、今思えばこの選択肢は正しかったと確信しています。なぜなら、これまで同窓会の皆さまが培ってこられた素晴らしい歴史や『チュウジョイズム』を、女子だけに留めることなく、男子も受け継ぐことができるからです。

「至学館大学」は、まだまだ歩き始めたばかりのヒヨコですので、今後とも皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、今後ますますのご発展と皆さまのご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。

2009  
10/18

## 第18回総会開催！（大学内アジア棟にて）

当日のキャンパスは大学祭で大賑わい。西岡副会長より開会の辞が述べられたのち、片桐会長より「中京女子大学名で最後の総会。一言では言い表せない気持ちです。」と挨拶がありました。九州・沖縄支部から、支部長の西岡富美子さま（S43年度 短体卒）や今村かをるさま（S50年度 食栄卒）も、遠路ご出席いただきました。総会では、校名変更に伴う同窓会の名称変更、そして規程の変更について満場一致で承認されました。審議終了後、長年に亘り同窓会活動にご尽力いただいた石川八重前会長並びに溝口百合子顧問の功労を讃え、感謝状と花束が贈呈されました。また、「手相を通じて前向きに生きる」と題して久保田久代先生（NPO法人ハッピーワン代表）にご講演いただきました。（総会集合写真①）

懇親会では、高等師範科卒の小林貞子さまや木和田福子さまに花束を贈呈し（写真②）、お元気の秘訣についてお話をさせていただきました。また、レスリングの世界選手権（2009.デンマーク）で優勝した西牧未央選手（大学院1年）を囲んで（写真③）楽しいひと時を過ごすことができました。

ご参加いただいた皆さま、どうもありがとうございました。また、今回参加できなかった皆さま、次回総会でぜひお会いしましょう！！



## 平成20・21年度事業報告

### 1. 事業に関する内容

- (1) 卒業記念品
  - ・ペーパーウェイト（H19年度卒業生）、スキミング防止カード（H20年度卒業生）、手提げ袋を卒業記念品として贈呈。
- (2) 中京女子大学同窓会設立30周年記念品
  - ・中京女子大学同窓会設立30周年記念品としてクリアファイル1,000部を作成。
- (3) 学科別学年幹事の選出
  - ・学科別学年幹事を各学科より2名選出。
- (4) 支部活動
  - ①支部設立準備委員会への助成
    - ・九州・沖縄支部を設立。支部設立に伴い、平成20年11月15日（土）に九州・沖縄支部設立記念講演及び九州・沖縄支部設立総会を沖縄ポートホテル ベガサスにて開催。
  - ②支部活動の充実および助成
    - ・第2回東海支部総会が平成20年2月3日（日）に三重県津市で開催。
- (5) 大学祭への助成及び参加
  - ・大学祭への助成はなし。
- (6) 世界レベル競技会に出場する学生への援助（団体10万円、個人5万円の助成を行う）
  - ・2007世界レスリング選手権大会出場に対する助成  
井上 佳子（67kg級 第5位）5万円

- ・2007アジアレスリング選手権大会出場に対する助成  
新海 真美（67kg級 第3位）3万円  
山名 慧（59kg級 第3位）3万円  
柴田 瑞穂（51kg級 第2位）3万円
  - ・2009世界レスリング選手権大会優勝に対するお祝い金  
西牧 未央（63kg級 優勝）5万円
- (7) 同窓会ニュースの刊行
    - ・同窓会ニュースNo.23を2008年9月1日付にて12,700部発送。
  - (8) 会員に対する支援
    - ・北京オリンピック出場に対する助成  
伊調 千春（女子レスリング49kg級 銀メダル）10万円  
吉田沙保里（女子レスリング55kg級 金メダル）10万円  
伊調 馨（女子レスリング63kg級 金メダル）10万円  
栄 和人（女子レスリング日本代表監督）10万円
  - (9) 会員の住所不明者の調査
  - (10) その他
    - ・同窓会HPを新たに立ち上げ、内容を充実させた。

### 2. 運営に関する内容

- (1) 会議、通信、慶弔及び事務等
    - ・電報（5件）
- 平成21年5月 五十川隆夫副学長瑞宝小綬章受章 他

## 平成22・23年度事業計画

### 1. 事業に関する内容

- (1) 卒業記念品贈呈
- (2) 学科別学年幹事の選出（各学科2名）
- (3) 支部活動
  - 同窓会活動の活発化及び会員相互の親睦を図るため、支部活動を進める。
  - ①支部設立準備委員会への助成
    - ・各県人会の充実
    - ・支部設立にあたっては、全国を8つの地域に分け、2年に1支部ずつを目途に順次支部を設立していく。
  - ②支部活動の充実及び助成
    - ・東海支部（平成18年度設立）、九州・沖縄支部（平成20年度設立）

- (4) 大学行事への助成及び参加
- (5) 世界レベル競技会へ出場する会員への助成（団体及び個人への助成）
- (6) 同窓会ニュース（No.24）の刊行
- (7) 会員に対する支援
- (8) ホームページの充実
- (9) 会員の住所不明者の調査

### 2. 運営に関する内容

- (1) 会議、通信、慶弔及び事務等

## 平成22・23年度役員会組織

役職名	氏名 (旧姓)	卒業年度
会長	片桐 勝子 (福本)	S40 短体
副会長	西岡 茂子	S45 食物
	塚本 陽子 (石原)	S52 児童
書記	林 浩子 (増田)	H2 児童
	田中 望	H13 健スポ・H15 大学院
	杉浦みゆ紀	H17 栄養
	深谷 知里	H20 健スポ

役職名	氏名 (旧姓)	卒業年度
会計	二村 泰子 (樋口)	S40 短家
	鷹羽 孝子 (焼山)	S52 大体
	勝野 綾子	H18 大学院
会計監査	須淵美代子 (服部)	S34 短体
	中川 泰代 (富田)	S46 食物・H5 大学院

顧問：石川八重、溝口百合子、福江昭子、杉本扶実子、上梨敦子、杉浦弘子

平成20・21年度  
中京女子大学同窓会収支決算報告書

(平成19年10月1日～平成21年9月30日)

《一般会計》	収入決算額	19,366,611円
	支出決算額	12,026,515円
	差引残高	7,340,096円 (次期繰越金)

## ◆収入の部 (単位：円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B-A)
前期繰越金	8,786,411	8,786,411	
会費・入会金	10,800,000	10,212,000	△ 588,000
利息	7,000	30,200	23,200
雑収入	300,000	338,000	38,000
合計	19,893,411	19,366,611	△ 526,800

## ◆支出の部 (単位：円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減額 (A-B)
記念品費	2,000,000	1,931,300	68,700
印刷費	2,000,000	1,137,892	862,108
通信費	2,500,000	1,712,659	787,341
会議費	300,000	209,295	90,705
諸経費	600,000	459,185	140,815
慶弔費	200,000	93,482	106,518
事務用品費	20,000	25,734	△ 5,734
アルバイト代	160,000	189,200	△ 29,200
交通費	500,000	340,215	159,785
学生活動助成金	500,000	598,400	△ 98,400
各支部助成金	200,000	100,000	100,000
支部設立準備金	1,000,000	803,903	196,097
積立金	4,000,000	4,000,000	0
予備費	5,913,411	425,250	5,488,161
合計	19,893,411	12,026,515	7,866,896

## 《積立金会計》

## ◆収入の部 (単位：円)

科目	金額	備考
前期繰越金	5,005,001	平成18年度250万円 平成19年度250万円
繰入金	4,000,000	平成20年度200万円 平成21年度200万円
利息	14,054	
合計	9,019,055	次期繰越金

\* 支出はなし

平成22・23年度  
至学館大学同窓会予算

(平成21年10月1日～平成23年9月30日)

## 《一般会計》

## ◆収入の部 (単位：円)

科目	予算額	前期予算額
前期繰越金	7,340,096	8,786,411
会費・入会金	9,036,000	10,800,000
利息	7,000	7,000
雑収入	300,000	300,000
合計	16,683,096	19,893,411

## ◆支出の部 (単位：円)

科目	予算額	前期予算額
記念品費	2,000,000	2,000,000
印刷費	2,000,000	2,000,000
通信費	2,000,000	2,500,000
会議費	300,000	300,000
諸経費	600,000	600,000
慶弔費	200,000	200,000
事務用品費	40,000	20,000
アルバイト代	200,000	160,000
交通費	500,000	500,000
会員活動助成金	600,000	500,000
支部助成金	200,000	200,000
支部設立準備金	1,000,000	1,000,000
積立金	4,000,000	4,000,000
予備費	3,043,096	5,913,411
合計	16,683,096	19,893,411

## 《積立金会計》

## ◆収入の部 (単位：円)

科目	予算額	前期予算額	備考
前期繰越金	9,019,055	5,005,001	
繰入金	4,000,000	4,000,000	平成22年度200万円、平成23年度200万円
利息	15,000	10,000	
合計	13,034,055	9,015,001	

\* 支出の予定なし

## 支部会情報

2010  
11/6  
開催予定

### 第3回 東海支部総会 開催のご案内

日時 平成22年11月6日（土）11：00～  
場所 ホテルクラウンパレス（旧浜松名鉄ホテル） 浜松駅前  
静岡県浜松市中区板屋町110-17 TEL：053-452-5111  
内容 総会・懇親会  
記念講演 伊藤敦子さま（S55年度 大体卒）  
冬季トリノ、バンクーバーオリンピック大会出場 伊藤みき選手の母親  
「私の子育て 一娘がオリンピックに出場してー」  
会費 5,000円（懇親会費 含む）当日徴収  
問い合わせ 静岡県世話係（東海支部 副支部長）池田澄子（S42年度 大体卒）  
TEL/FAX：053-425-4359 E-mail:sumiike529@yahoo.co.jp  
同窓会事務局 深谷  
TEL：0562-46-1292（内線167） FAX：0562-44-1313

2009  
11/15

### 九州・沖縄支部が発足しました。

五十川隆夫副学長、戸谷信俊入試・広報課長、講師に百々康治先生をお招きし、開催されました。ご出席いただいた皆さま、ありがとうございました。

於：沖縄ポートホテル



#### ★支部長のことは

九州・沖縄支部の設立に際し、支部長に推挙されました西岡でございます。微力ではございますが会の充実・発展のために、誠心誠意務めさせていただきます。本部の会長・役員さまはじめ、会員の皆さまのご指導ご協力を心よりお願い申し上げます。



同窓会、ここには暗黙のうちに先輩が後輩を思いやり、後輩が先輩を敬う人情豊かな絆を感じます。今後は、母校の発展及び躍進の一助となるべく、九州・沖縄の会員の皆さまとの融和を図り、またお力添えをいただきながら進めていきたいと願っております。

九州・沖縄支部長 西岡富美子（S43年度 短体卒）

第2回九州・沖縄支部総会は平成23年に開催予定です。

### 同窓会活動活性化を目指して！

下宿や部活の仲間または、クラス会・同期会・県人会などのつながりを大切に守り続け、親交を深めてみえる会員の皆さま、また、これから新たに立ち上げたいと希望される皆さま、ぜひ同窓会本部にご一報ください。

同期会や県人会の開催の設定をサポートいたします。例えば、県人会の場合、会場や出欠確認を含めた案内状発送から、経費の補助等の支援をいたします。また、実施後は、会報やホームページで写真や文章の掲載なども行います。

全国各地の同窓生の皆さまからのご連絡を心よりお待ちしております。

## クラス会情報

“同窓生の近況をお寄せください。”

2009  
10/18

### 26年ぶり母校に集い……



私たち短体Aクラスは卒業後5年毎にクラス会を開いています。今回、幹事をまかされていた私は大学ホームページより、来年度4月校名変更となることを知り、寂しさを感じながらもぜひ仲間たちともう一度あのキャンパスに集まりたいと思い、同窓会総会に合わせてクラス会を開くことを思い立ちました。

当日は9名の参加でしたが、初めての総会に出席し、諸先輩方のお顔を拝見し、お話を聞き大変感動いたしました。私たちも素晴らしい年の重ね方をしたいと強く思いました。参加者全員が26年ぶりの母校訪問で懐かしさと嬉しさと笑顔、笑顔で話しは尽きることなく楽しい時間を過ごすことができました。

次回は節目の50歳で温泉旅行にしよう!と盛り上がり、それぞれの生活に戻っていきました。同窓会の役員の方々の皆さま、本当にお世話になりました。

小田島ゆきよ（S57年度 短体卒）

## 県人会情報

### 2008 11/3 熊本県人会

発起人の古閑ヒサ子氏（S11年度 家事体操専攻科卒）のご尽力で平成4年に誕生。これまで数回に及ぶ会合を開催し、ある時は、九州各県に呼びかけ参加していただいたこともありました。「九州・沖縄支部の設立」を知り、会の運営の見直しも兼ねて久々に集合（登録者10名全員）。すぐに打ち解けた雰囲気に戻り、近況報告などで盛り上がり、お互い元気をもらって帰途につきました。

写真中央は、91歳になられた古閑ヒサ子先生です。

16年ぶりの再会でしたが、月日の流れを感じることなく楽しく盛り上がりました。本当に「仲間」っていいですね……

これからも元気に「会」を重ねていきたいと思います。

西岡富美子（S43年度 短体卒）



### 2010 1/30 三重県人会

三重県人会は、稲垣敬子さま（S41年度 大体卒）が中心となって、定期的で開催されています。平成21年度は、卒業生の伊藤敦子さまを講師にお招きし、講演をしていただいたとのこと。伊藤さまは、冬季オリンピック女子モーグルに日本代表で出場した伊藤みき選手の母親でもあります。

#### ★「子育てからオリンピック出場まで」

日時 平成22年1月30日（土）11：00～

場所 ホテルリゾートイン・二見

講師 伊藤敦子先生

（滋賀県立日野高等学校教諭 S55年度 大体卒）

トリノ・バンクーバー・冬季オリンピックモーグル出場伊藤みき選手のお母さまでもあり、OGでもある伊藤敦子さまをお招きして、家庭と仕事との両立の傍ら、三姉妹をモーグルスキーヤーとして育てられ、五輪切符を手にされるまでのお話をさせていただきました。

楽しく滑る家族スキーが発端で、上達するに従って楽しさのなかから頑張ることを学ばせ、毎日の食生活からは好き嫌いをなくす（これは人との好き嫌いにもつながる）、信頼される人になるには努力を惜しまない。大きな懐で常に包まれ支えられたご家族の絆の強さに、ただただ感動しました。またそれにこたえるべく姉妹の素直で純粋な気持ちがあったからこそ、大きな夢を手に入れることができたのだと思いました。先生の心がけのひとつひとつが大きな成果を生み、また姉妹にとっては大きな心の財産となっていくのでしょう。お話をされる先生の表情のなかにあたたかい幸福感が伝わりました。素晴らしい子育てに拍手を送ると同時にこの機会に恵まれたことに感謝しています。今後は健康に留意され世界の頂点を目指し、ご活躍されますよう応援しています。

三重県人会代表 稲垣 敬子（S41年度 大体卒）



### 2008 11/14 昭和42年度体育学部体育学科卒業生のクラス会

日時 平成20年11月14日（金）～16日（日）

場所 徳島県鳴門市 ルネッサンスリゾート鳴門 宿泊

#### ★「美人ぞろいでしょ……」

貸し切りバスにて観光（参加者12名）

- 15日（土）大塚美術館見学 ⇒ 観潮船にて渦見学 ⇒ 昼食は鳴門市内で皿うどん完食 ⇒ 四国八十八ヶ所一番札所霊山寺参拝 ⇒ 鳴門市ドイツ館見学、買い物 ⇒ 藍の館、藍の店「おくむら」見学、買い物 ⇒ 徳島市内で宴会、宿泊

- 16日（日）ロープウェーで眉山に登り市内展望 ⇒ 昼食後 解散！



全員集合！「はい」「おすまし」



ホテルにて阿波踊り体験「どうです、さまになっているでしょう？」「さすが、運動能力高いねえ」と誉められました。



霊山寺参拝 いつまでも若く、美しく、元気でいられますように……

2年後、鳥取県での再会を約束してそれぞれ帰路に着きました。情報提供（S42年度 大体卒）

井戸田照代（旧姓 長船）・島田れい子（旧姓 西）

## 新たなる挑戦！

# 中京女子から至学館 (SHIGAKKAN) へ

明治38年、中京裁縫女学校に始まり創立以来、世界のトップアスリートを多数輩出するなど、輝かしい歴史を誇る中京女子大学。卒業生=同窓会員は約1万8千人余り。我々の青春、想いを乗せて次なる航海へと2010年4月、荒波の中を船出しました。



大学名の変更は、創立以来“健全で円満な女性の育成”を目指す教育を実施してきた女子大が、すべての若者の自立へと門戸を広げ、**男女共学**を決定しました。

「**人間力の形成**」を教育理念にかかげ“**健康**”をキーワードとする学部・学科の再編成に早くも注目が集まり、初年度から全体の4割近くもの男子学生を迎えて、共学校として順調なスタートをきりました。



### ■ 大学の変遷

- 明治38年 中京裁縫女学校創立
- 昭和25年 中京女子短期大学開設
- 昭和38年 中京女子大学開設
- 昭和54年 学校法人内木学園→学校法人中京女子大学(法人名変更)
- 平成22年 学校法人中京女子大学→学校法人至学館(法人名変更)
- 平成22年 至学館大学及び至学館大学短期大学部に校名変更

### ■ 「至学館」命名の由来

本学園の建学の理念である「人間力の涵養」を基に『より高いところを目指し、常に向上心とチャレンジ精神をもって自らの力で学びに至るための館』という意味を込めて命名されました。

### ■ 学校法人至学館シンボルマーク



下二本の直線は、いつまでも強く支える学園（至学館）と家庭の存在を表しています。上部で交わる線は、学園に集う仲間（友人、先生）との交流を表しています。左から右は過去から未来への時間を表しています。

至学館のロゴのある重なり合い交差する道、それは人と人との出会い、「ひと」と「こと」との出会いを象徴しています。

### ■ 学部・学科構成と主なポイント

#### 至学館大学 健康科学部

##### 健康スポーツ科学科

競技力向上・健康づくりをサポートする  
プロの指導者を養成

keyword

- 保健体育教員
  - 運動
  - 健康
  - スポーツ科学
  - スポーツ医学
  - 健康社会学
  - トレーニング
  - メンタルケア
  - アスリートサポートシステム
- など

##### 栄養科学科

臨床栄養のみでなく、  
スポーツ栄養の知識と実践力を  
身につけたワンランク上の  
管理栄養士を養成

keyword

- 栄養士
  - 管理栄養士
  - スポーツ栄養
  - 食育
  - 臨床栄養
  - 栄養学
  - 食品学・調理学
  - 公衆栄養学
  - アスリートサポートシステム
- など

##### こども健康・教育学科

一人ひとりのこどもと  
正面から向き合う  
熱意をもった“先生”を養成

keyword

- 保育士
  - 幼稚園教員
  - 小学校教員
  - 中学校保健体育教員
  - 食育
  - 学校間接続・連携
  - ボランティア
  - こころからだ
  - 社会と環境
  - 遊びと文化
  - 発達支援
- など

#### 短期大学部

##### 体育学科

東海地区で唯一、体育を  
専門的に学べる短期大学で、  
運動・スポーツ指導者を養成

keyword

- アスレティックトレーナー
  - 中学校保健体育教員
  - インストラクター
  - 介護
  - 体育学
  - 運動学
  - 健康体力学
  - スポーツ指導者
- など

##### 専攻科

(アスレティックトレーナー専攻)

##### 【目指す指導者】

- スポーツドクターと連携した健康管理
- スポーツ傷害への対応
- リハビリ、コンディショニング
- コーチとの連携によるトレーニング指導
- メンタル面も含めたトータルなアスリートサポート

## 女子プロ野球

©日本女子プロ野球機構



**深澤 美和**

(H20年度 健スポ卒)

平成17年12月、日本で初となる女子単独チームで愛知大学野球連盟に加盟承認された中京女子大学硬式野球部の初代主将として、男子を相手に“1勝”という目標に向かい、3年間チームを牽引してきました。初めての挑戦ということもあり、世の中の反対意見が多い中、女子でも大好きな野球ができることを身をもって証明しました。卒業までに目標は達成できませんでしたが、幼少から続けてきた大好きな野球を続けたいと、卒業後は、日本プロスポーツ専門学校に進学し、男子の中で硬式野球を続け、現在は日本女子プロ野球機構の京都アストドリームスに所属し、女子プロ野球選手として活躍しています。

©日本女子プロ野球機構



**奥田 実里**

(H21年度 健スポ卒)

女子単独チームが男子を相手に戦っていることを新聞報道で知り、迷わず硬式野球部に入部しましたが、入部当時の同級生が次々と退部していき、4年次には1人という状況で、初代主将の深澤美和の跡を継ぎ、2代目主将としてチームを牽引しました。しかし、大学で全ての学部・学科に男子学生を受け入れることとなり、硬式野球部にも男子部員が入部しました。男女混合チームで4部昇格という目標は達成できましたが、女子単独での“1勝”は後輩達に託すことになりました。現在は、日本女子プロ野球機構の兵庫スイングスマイリーズに所属し、女子プロ野球選手として活躍しています。

## 陸上競技



**今井 沙緒里**

(短体2年)

中学時代から陸上短距離で活躍し、平成21年9月の日本学生対校選手権(日本インカレ)200M競走では自己新記録の24秒06(東海学生新記録)で、1年生ながら並み居る強豪選手を抑えて優勝しました。シーズンオフには瞬発力とスピード持久力の強化に取り組み、今シーズンも記録を伸ばし続けており、さらなる活躍が期待されます。

普段はチョコレートが大好きな“普通”の女子学生ですが、ひとたびトラックに立つと持ち前の集中力を発揮し、アスリートの表情に変わります。

平成22年6月の日本選手権でも3位入賞を果たしましたが、まだまだ満足できません。

「日本代表として世界の舞台に立ち、より強い選手たちと一緒に走りたい」。さらに大きな夢に向かって走り続けます。

## レスリング



**西牧 未央**

(大学院健康科学研究科1年)

世界選手権63kg級2連覇をなしとげ、年間を通じて最も活躍した選手を表彰する2009年の「ベストレスラー・オブ・ザ・イヤー」の女子部門に選出されるなど素晴らしい活躍をしています。至学館高等学校、中京女子大学を卒業し、さらに上を目指すために選んだのは至学館大学大学院。今は2012年ロンドンオリンピック日本代表をめざし、素晴らしい指導者とライバルがいる至学館で、日々練習をしています。持ち前の明るさと、ガッツで、応援する私たちを楽しませてくれる西牧未央選手。今後、彼女がどんな活躍をしてくれるか楽しみです。

## 課外活動内容・成績 (平成20・21年度)

### 弓道部

- 東海学生弓道選手権大会 優勝 (H20年度)
- 東海学生弓道選手権大会団体戦 準優勝・個人戦 優勝 (H21年度)

### 競技スキー部 (H21年度 廃部)

- 国体出場、インカレ出場 (H20年度)

### サッカー部

- 全日本大学女子サッカー選手権大会プレーオフ 優勝 (H20年度)
- 全国大会東海予選 準優勝 (H21年度)

### 水泳部

- 日本学生選手権大会出場 (H20年度)
- 日本学生選手権大会出場 (H21年度)

### 創作ダンス部

- アーティストック・ムーブメント・イン・トヤマ2008 入選
- 全国高校大学ダンスフェスティバル(神戸) NHK賞受賞 (H20年度)

### ソフトボール部

- 愛知県大学選手権大会 準優勝 (H20年度) (H21年度)

### 軟式野球部

- 全日本大学女子軟式野球選手権大会準優勝 (H20年度)

### バスケットボール部

- 東海学生バスケットボールリーグ戦 2部 1位 (H20年度)

### バドミントン部

- 中部大会ダブルス 優勝 (H20年度)
- 東海大学バドミントン選手権大会 準優勝 (H21年度)

### バレーボール部

- 西日本インカレ ベスト8 (H20年度)
- 東海大学男女バレーボール春季リーグ 3位 (H21年度)

### ハンドボール部

- 東海学生ハンドボール秋季リーグ 優勝 (H20年度)
- 東海学生ハンドボール春季リーグ 2位 (H21年度)

### ラクロス部

- 第17回東海学生ラクロスリーグ戦予選リーグ女子 3位 (H20年度)

### 陸上競技部

- 東海インカレ女子総合 優勝 (H20年度)
- 日本インカレ200M 優勝、4×100Mリレー 5位、日本ジュニア選手権200M 優勝、日本選手権4×100Mリレー 5位 (H21年度)

### レスリング部

- インカレ優勝 4名 (H20年度)
- 世界選手権 優勝 63kg級 西牧未央(H20年度) (H21年度)
- 全日本学生選手権大会 59kg級 優勝 (H21年度)

### エアロビックダンスサークル (H22年度 廃部)

- ボカリスエットカップシングル部門 準優勝 (H20年度)

### 剣道部

- 東海女子学生剣道新人選手権大会 3位 (H21年度)

### 硬式テニス部

- 東海学生春季テニストーナメント本戦出場 (H21年度)

### 柔道部

- 東海学生女子柔道優勝大会出場 (H21年度)

### 体操競技部

- 中部日本学生新人体操選手権大会出場 (H21年度)

### フィギアスケートサークル

- 第39回中部学生氷上競技大会フィギュアの部Cクラス女子 第1位 (H21年度)

### 硬式野球部

- 愛知大学野球連盟4部リーグ昇格 (H21年度)
- ※平成22年度 秋季リーグより 3部リーグ昇格

### その他

☆紹介しきれませんでしたが、大会やイベントに参加し、活躍しているクラブを紹介します。

- ・ソフトテニス部
- ・卓球部
- ・HIP HOP DANCE部
- ・フットサルサークル
- ・アスレチックトレーナー部
- ・ウィンタースポーツサークル
- ・チャダンスサークル
- ・パドルテニス同好会
- ・軽音楽部
- ・茶華道部
- ・着付け・マナー同好会
- ・調理隊
- ・人形劇団「あおぞら」
- ・フェンシング部 (H22年度 廃部)
- ・エンジョイブレイ (H22年度 廃部)
- ・空手同好会 (H22年度 休部)

## 同窓会事務局より

### 第1回至学館大学大学祭のご案内

テーマ 「46+ (プラス) ～はじめの一步～」  
 開催日 平成22年10月16日(土) AM 11:00～  
 17日(日) AM 11:00～  
 皆さま、お誘いあわせのうえ、是非ご参加ください。

### 次回総会のご案内

次回総会は、平成23年10月に開催予定です。詳細は後日お知らせいたします。ご意見、ご希望がございましたらお寄せください。

### 住所等変更について

住所等の変更手続きがホームページからできるようになりました。ご住所、お名前等の変更があった場合は、ホームページ内「住所変更」より変更事項をお教えください。なお、住所変更はFAXでも受け付けております。

### 近況をお知らせください

皆さまの近況をお知らせください。同封の用紙に記入し、同窓会事務局までお送りください。FAXやE-mailでも受け付けています。お送りいただいた原稿は、ホームページ等に掲載させていただきます。掲載させていただいた方には、プレゼントがあります。写真があれば一緒にお願いします。

### 修学支援金募金の報告並びにお礼

このたびは「中京女子大学修学支援金募金」へのご協力をお願いいたしましたところ、募金額は総額4,389,000円に達しました。発起人はもとより、多くの皆さまからご寄付を賜り、厚くお礼申し上げます。

皆さまからお寄せいただきました募金は、募集目的のとおり大学の新生ならびに在学中で、経済的に困窮している学生に対する奨学金原資に充当させていただきます。

今後とも同窓会活動にご支援賜ります様よろしくお祈りいたします。

中京女子大学修学支援金募金  
 発起人代表 片桐勝子

### 平成20、21年度退職された教職員

平成20年度  
 駒井 洋(アジア学科教授)  
 堀場純矢(児童学科助教)  
 不二見由華(経営管理局学生課員)  
 平成21年度  
 中井 定(健康スポーツ科学科助教)  
 河合 清(栄養科学科教授)  
 甲田道子(栄養科学科准教授)  
 山下良子(栄養科学科准教授)  
 高橋昭弘(児童学科教授)  
 加藤 修(児童学科教授)  
 山下 巖(児童学科准教授)  
 柴田浩行(経営管理局総務課係長)  
 榊原圭介(経営管理局入試・広報課員)

中野綾子(経営管理局教務課員)  
 三浦慶嗣(経営管理局情報センター主任)

### 訃報

元教授 堀本 宏  
 (平成21年8月4日逝去)

ご冥福をお祈りいたします

S.43.4～ 大学体育学科  
 S.62.4～ 短期大学部体育学科  
 H.14.3 退職

主にバスケットボール  
 教職課程関係に従事

## 新役員紹介



中川(冨田) 泰代

(S46年度食物卒・H5年度大学院卒)

大学卒20年後に大学院、16年後の今回、同窓会へ! 県人会の発足を応援します。



鷹羽(焼山) 孝子

(S52年度大体卒)

今、大学へくるたびに楽しかった学生時代を懐かしんでいます。



勝野 綾子

(H18年度大学院卒)

卒業生と大学をつなぐパイプ役として、至学館大学の発展に尽力していきたいと思ひます。



杉浦 みゆ紀

(H17年度栄養卒)

ますます活気あふれる同窓会となるよう、持ち前の明るさで頑張ります!



深谷 知里

(H20年度健スポ卒)

同窓会が元気になるように、活動していきます!!

## 編集後記

猛暑に汗し、「至学館大学同窓会」名のニュース初号を発行しました。

母校の校名変更を複雑な思いで受け止めてみえます会員の皆さまにもご理解いただけますようお願いしながら、編集いたしました。母校が歩み「つづける」ために、私たちもまた、心身ともに

に健全でたくましく人生を積極的に歩み「つづけていく」ことが必要だと思っています。

ここ数年、皆さまからのお便りが増えてきました。今後もホームページや会報を通じて、「心の交流や語らいの場」となるよう発信してまいります。学科年齢にとらわれず、多くの皆さまのお声をお待ちしております。校名変更記念の絵はがきを作成いたしましたので、お礼としてプレゼントいたします。どしどしお寄せください。(H・H)